

主題
「平和を実現する人々は幸いである」マタイによる福音書5章9節

基本方針
イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する

組織の課題
若い会員を増やし、意志決定機関に25%以上の若い会員を入れる

運動の課題
1.憲法改悪を阻止し、第9条を世界平和の礎にする
2.「核」廃絶と、自然エネルギー活用を推進する
3.子どもの権利を守る
4.女性への暴力の問題に取り組む

YWCA 5

MAY. 2006

発行所 日本キリスト教女子青年会
〒102-0074
東京都千代田区九段南4-8-8
Tel. 03-3264-0661
E-mail. office-japan@ywca.or.jp
編集発行人 青木恵子
振替 00170-7-23723 (毎月1日発行)
定価1部 150円
年間購読料2,200円(送料込)
www.ywca.or.jp



世界に誇る 9条を守る

3月に山口県岩国市で行われた、米軍再編による海軍厚木基地の空母艦載機受け入れの是非を問う住民投票で「艦載機受け入れ反対」に〇をつけた人は有効投票総数の9割だった。「もしも50%のハードルを越えることができず無関係ということになれば、岩国市民は甘く見られ、底なしに全世界の嫌がる軍事施設、飛行機が持つてこられると、成功への折りと共に、失敗への危機感で胃の痛くなるような1ヵ月が続いた」と戸村義人さん(広島YWCA会区)は述べている。「住民投票を成功させる会」を作り、地道なビラ配り・街頭宣伝・1500人の人文字集会、投票日前日には地元反対3団体共催集會も実現させた取り組みに、広島YWCAの会員会友も参加した。

私たちは、日本各地にある27のYWCAが有機的につながっての運動展開を模索し続けている。運動課題推進委員会発行のメールマガジン「SAY」ネットワーク」を読むと、各地で工夫を凝らしさまざまな運動を展開しているが、今ひとつネットワークを生かしてきていないのではないかと思う。今回はそれらをつなげて、「日本国憲法改正国民投票法案」と「教育基本法改悪」反対の意思表示を国会議員に伝えるために、全国のYWCAが連帯して一斉に声を上げようと、4月14日の全国統一行動を呼びかけた。国会議員会館へ行ってのロビイング活動の他に、国会議員へのハガキ・FAX送付行動などである。

06年度中央委員会開催
日程 5月27日(土)・28日(日)
会場 国立オリンピック記念青少年総合センター(代々木)

*「憲法のひろば」連絡先
〒100-8960 東京都千代田区永田町1-7-1
日本国憲法に関する調査特別委員会「憲法のひろば」係 電子メール kenpoai@hinking.jp
FAX 03-3581-5875

「憲法改悪の危機にある今、憲法9条・非暴力の思想に立つ私たちは、改悪を阻止するために積極的に行動します」と昨年の「ひろしま」を考案する旅「ヒロシマ・アピール2005」を発表したように、よく学び、多くの人と、特に意見を異にする人ともよく語り、知恵を絞って憲法改悪阻止のために力を惜しまず行動し、世界に誇る9条を守ろう。

人が血を流して死ぬことは本当に哀しい。自衛軍などという国家の容認する暴力組織を使って多くの人を死なせてはならない。日本の国に一度と同じ罪を犯させてはならない。

日本YWCA運動課題推進委員会
憲法改悪阻止チーム 石原清美

当日国会議員会館でのロビイング活動には5YWCA、13名が参加、グループに分かれて要請活動を行った。「全国から同じ要望書がたくさん届いていますよ」と多くの議員秘書に言われ、全国の地域YWCAと意思をひとつにして全国運動を展開していることを実感し、大いに励まされた。議員と直接面談できたグループもあり、教育基本法改悪をめぐる「愛国心」の表記に関して与党が合意したと報道された直後に反対の声をあげたアクションはタイムリーだった。(2面関連記事掲載)

次と呼びかけたいのは、「憲法のひろば」への投稿である。すべての投稿は「衆議院日本国憲法に関する調査特別委員会の理事、委員50人にコピーが配られ、参考資料となる。たくさん意見が届ければ護憲派が2人しかいない特別委員会での議論を喚起することが期待できるだろう。今こそ大きな声を上げるときである。各地からの声を発信しよう。

神の食卓を囲む

大川孝子

人と人が向き合って生きることがなんと難しくエネルギーがいいることでしょう。拉致問題をめぐる北朝鮮と日本、小泉首相の靖国神社参拝をめぐる中国・韓国との関係においてもそれぞれの主張が平行線を保ったままの状態です。ではアメリカとはしっかりと向き合っているかといえば、決して十分とは思えません。人間にとって一番大切なことは、国の違いを越えて「生命を守る」こと。それを容易にさせるものは一体何なのでしょうか。

使徒言行録10章にローマの百人隊長コルネリウスとイエスの弟子ペテロに、神が用意された食卓の話があります。二人はまったく知らない間柄で交際は一切許されてはおらず、コルネリウスも同じイスラエルの神を信じ、折り、多くの人々に施しをしていましたが、ローマ人であるゆえにユダヤ人との交わりはゆるぎされず、異邦人という壁を乗り越えられないでいました。そこで神は幻を通して、コルネリウスには食卓の用意を、ペテロにはそこを訪ね、イエスが救い主であることを述べ伝えるように命じられました。ペテロは、遠い地にあるコルネリウスの家で、初めて出会う家族や親戚・友人などに迎え入れられ、一緒に食事をし、イエスさまの心を熱心に語りました。これを知った人々はみなイエスさまを信じて生きるようになり、人間社会の障壁が打ち砕かれたのです。この食卓に並んでいたものは、キリストの体と血、十字架によるゆるしであったのです。

立場の違い・国の違いは平和の実現を阻むものではなく、むしろ遠くにいるからこそ、共に生きる喜びを知ることができるようではないでしょうか。敵をつくらず、どんな人とも向き合える勇気を神に折り求める昨今です。(日本YWCA常任委員)



静岡YWCA 憲法9条の会発足

基地の街に暮らす私たち

—岩国・呉

3月12日、全国で初めて基地問題で住民投票が行われた。在日米軍再編成により、米軍空母艦載機の厚木基地から岩国への移転に対し、住民投票は、投票率58・68%、投票者の90%が反対という圧倒的なNOという結果。住民の、これ以上米軍基地の犠牲にはなりたくない、未来を担う子どもたちにツケを負わせられないとの思い・願いが通じた。

しかし、小泉首相は「誰でも基地はないほうがいいと思えますよ。でも安全保障問題に対して、地域の論理を優先する風潮

主に支えられて40年の歩み

長崎YWCA記念誌完成

記念誌「主に支えられて40年の歩み」が、会員・賛助会員をはじめ多くの方々のご協力により発行でき、感謝いたします。昨春秋の会員サーには、長崎YWCA発祥の地である活水女子大キャンパスを訪れ、40年前の若い会員の情熱に感動しました。キリスト教を基盤にして学

生YWCAで培った奉仕活動やチャレンジ精神は、被爆地としての平和・人権・女性問題を地域の運動として実践活動してきました。

「ながさき」原爆の図」展、「長崎非核都市宣言を求める意見広告」の募金活動、「長崎平和の母子像」建立運動、「心に

が広まるのは懸念する」と発言し、何となくでも住民の意思を無視しようとしている。そして、住民の意思を大切にしようとする住民投票を行うし現井原市長を引きずり下ろそうと、4月の市長選に艦載機移転承認の対立候補をたてている。

呉は戦前、アジア侵略の最も重要な軍港として栄え、現在、米軍強軍基地・海上自衛隊基地として米軍の「対テロ戦争」に全面加担している。しかし、日々基地の街で暮らしている自衛隊の艦船も制服も見慣れた気がつければ呉の米軍・自衛隊共

本を紹介

「幸田姉妹 —洋楽黎明を支えた幸田延と安藤幸」

萩谷由喜子著 (株)シヨパン発行 1500円+税

明治の文豪幸田露伴の妹2人が音楽家だったとは、この本を読むまで知りませんでした。しかも東京音楽学校(今の東京芸術大学音楽学部)の教授。延はピアノとバイオリンを弾き、作曲もするという秀才だし、幸はバイオリン国際コンクールの審査員も務めたというスケールの大きい人物。洋楽の黎明期を切り開いた2人に、女性がまだ認められていなかった時代の世間の目は、時には冷たいものでした。

あまり知られていない事実、光を当てた本書は、音楽史だけでなく、女性史としても興味をそそられます。(FM)

感謝をもって報告致します。このうち、2万7306円はインド・パキスタン地震被災者支援募金へ、残金は日本YWCAの活動へ使われます。次回には夏に開催の予定です。

改正国民投票法案の問題点のリーフレットを配布することにしました。決して構えず、少数数でも思ったことを素直に意見交換する理念を改め、一同感激して、自民党案の隠された意図を実感したのである。4月4日行われた第2回は、みんなでユニカーマ監督の映画「日本国憲法」を見ました。小泉発言にカッとなってもう見たくない！と洩らしたり、ベアテさんの努力と苦労に感激したり。第3回は、憲法記念日にあわせ「日本国憲法

同使用の昭和埠頭は艦船でいっぱい。そして今、呉は「艦艦大和」ブームで観光客があふれている。侵略・敗戦の歴史を引きずりながらも、一方で米軍の世界戦略のもと、呉は戦争への道の最先端を担おうとしている。同じ基地の街で暮らす岩国住民と共に「基地はいらない！武力では平和は創れない！」と声を大きく上げてゆきたい。そのさやかな一歩として、06年度呉YWCAは原点に戻って具体的な行動と共に連絡平講座を企画している。

呉YWCA 向井三木代

▼世界YWCA年間活動報告書03/04年版発行(50円)
▼YWCAの国際協力「世界YWCA相互援助事業」発行(カラー版100円、モノクロ版50円)
▼日韓共同未来プロジェクト事業「YWCA日韓青年交流プログラム報告書発行(カラー版100円、モノクロ版50円)
お問い合わせは国際部まで

訂正(3月号2面)
「沖繩から見た平和・女性への暴力」の記事の中で、「昨夏、または沖繩で起きた米兵による10歳の少女への強姦事件」は「強制わいせつ事件」の誤りでした。お詫びして訂正します。

「協力ありがとうございました」
一般寄付 寺嶋公子
賛助費
高藤純子 松下起子 小林喜寿子
山中光子 山本和代 大澤千鶴子
岡野フミ子
100周年記念事業募金
山本利子 斎藤純子 渡辺雅 唐崎
バレンスチヤYWCA支援金
オリーブの本家
山中光子 三橋伸子 呉YWCA
益田明美 伊藤強美 横浜YWCA
藤村幸子 東京YWCA年次総会
インド・パキスタン地震募金
東洋英和女学院中高等学校委員会
日本キリスト教団鎌ヶ谷教会

「協力ありがとうございました」
一般寄付 寺嶋公子
賛助費
高藤純子 松下起子 小林喜寿子
山中光子 山本和代 大澤千鶴子
岡野フミ子
100周年記念事業募金
山本利子 斎藤純子 渡辺雅 唐崎
バレンスチヤYWCA支援金
オリーブの本家
山中光子 三橋伸子 呉YWCA
益田明美 伊藤強美 横浜YWCA
藤村幸子 東京YWCA年次総会
インド・パキスタン地震募金
東洋英和女学院中高等学校委員会
日本キリスト教団鎌ヶ谷教会

「協力ありがとうございました」
一般寄付 寺嶋公子
賛助費
高藤純子 松下起子 小林喜寿子
山中光子 山本和代 大澤千鶴子
岡野フミ子
100周年記念事業募金
山本利子 斎藤純子 渡辺雅 唐崎
バレンスチヤYWCA支援金
オリーブの本家
山中光子 三橋伸子 呉YWCA
益田明美 伊藤強美 横浜YWCA
藤村幸子 東京YWCA年次総会
インド・パキスタン地震募金
東洋英和女学院中高等学校委員会
日本キリスト教団鎌ヶ谷教会

民、主義を諷むながら、なぜこども強者が驕り弱者が貶められるのかたちが作られ続けるとまきばりではない対話と分かち合いの秩序は待っていて与えられるのではなく、生活のなかで上げるべきもの▼役目を私たちが果たしている？「民益」のために？(K・I)

